



ごみは正しく分別しましょう！

最近、可燃ごみ収集作業員の方から「ごみ袋をパッカー車に入れるとき、袋の中に入っていたビンが飛び出して、顔に当たりそうになった。」との報告がありました。



高さ10cmほどのビンで、調味料が入ったままだったそうです。重さもあり、顔に当たっていたら、大けがになっていたと思われます。

ビンは中身を出して水ですすぎ色ごとの「ビン」として、ラベルとキャップは外して「容器包装プラスチック」で出しましょう。「混ぜればごみ、分ければ資源」です。

指定ごみ袋に入れて良いのは「燃やせるごみ」だけです！

分別がされていないと、

- ・作業員の皆さんがケガをしたり、
- ・収集車両やごみ処理施設の故障の原因となる恐れがあります。

ひいては、

- ・ごみ収集や処理に支障が出たり、
- ・修理に多大な費用を要することになります。

作業員の皆さんは「エッセンシャルワーカー」の一員として、市民生活に欠かせない業務を担っていただいています。

ごみの正しい分別について、改めて市民皆様のご理解とご協力をお願いします。



●問合せ 市民生活課生活環境係 ☎75-4972



ダンボールコンポスト無料モニター講習会参加者募集

生ごみの減量を目的とした「ダンボールコンポスト無料モニター講習会」を以下のとおり開催します。（昨年10月開催の講習会と同じ内容です。）

企業の協賛金および市補助制度により、2回の講習（説明/品評会）を受講していただくと、ダンボールコンポストセット一式（通常1,500円）が無料になります。

※講習当日に本人確認書類（運転免許証やマイナンバーカードなど）を提示してください。

※市外の方は半額（750円）が自己負担となります。

- 1回目：ダンボールコンポスト講習会（ダンボールコンポストの使い方の説明等）

3月19日（土）13:30～15:00

- 2回目：ダンボールコンポスト品評会

（生ごみ処理中のコンポストの状態を講師がチェック/アドバイスします。）

4月16日（土）13:30～15:00



- 定員：10名程度
- 会場：再生工房（耳納クリーンステーション南側）屋外にて

—ダンボールコンポストとは—

自然界の微生物の働きを利用して、ダンボール箱の中で生ごみを堆肥に変えるものです。広い場所を必要としないため、ベランダなどに置いて生ごみを処理できます。

- ①生ごみ・食べ残し等を嫌な臭いに悩まされることがなく約3ヶ月間生ごみを入れ続けることができます。
- ②できた堆肥は野菜や花のとても良い肥料になります。

●申込み・問合せ 耳納ねっと！☎76-2077／市民生活課生活環境係 ☎75-4972